

いの町
管財契約課
今田 和男

Re地適正化計画 ~ベッドタウン再生計画~

ビジョン → ここで家を建てたい。若者の夢が叶う日本一のベッドタウンへ
放置空き家の予防・是正で住み続けたい町にするための政策提案です。

政策 Re地適正化計画

1 終活フェスタ INいの

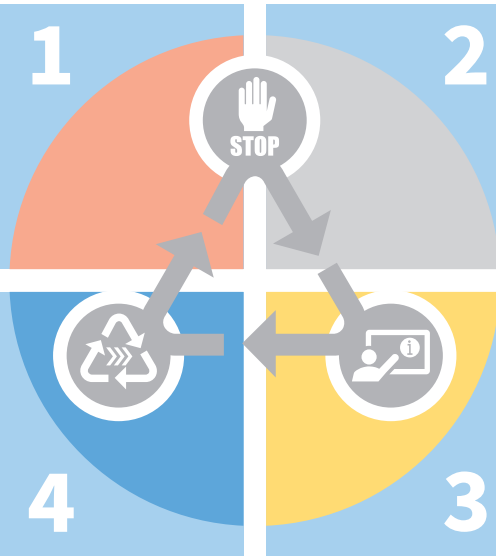
終活プラットフォームを構築し、民間主導による終活フェスタを実施
→終活常識化で空き家を予防

目標 町民の30%が終活を行う町へ

4 空き家建替促進事業

空き家を取得し、建替える子育て世帯に最大250万円の補助
→売れない空き家の流通を加速

目標 空き家100件解決!!
税込60,500千円増見込



2 空き家届出制度

転出・死亡届提出時に空き家の管理計画や連絡先、情報提供の有無を届出
→専門家提案で空き家を予防

目標 新規空き家届出率80%
空き家発生率50%抑制

3 空き家コンシェルジュ

補償コンサルへ委託し、町外の空き家所有者へ意向調査訪問
→専門的視点により空き家が深刻化する前に総合提案

目標 600件訪問240件面談
空き家放置状態を是正

感想 携わったことのない業務の政策立案ということで、情報収集と政策案の検討を同時並行で行いながら、都度軌道修正を繰り返す、怒濤の5か月間でした。自身の立案だけでなく他市町村の研究生の課題と一緒に考えていく中で、同じ課題でも立地条件や様々な状況により解決の糸口はかわり、ピンポイントに何を地方自治体としてやっていくべきかをとても考えさせられました。この経験を活かし、今後も業務の政策提案に繋げていきたいと思っております。最後に、ご指導いただいた西野講師や広域連合の皆様、職場の皆様、研修生に心から感謝いたします。

越知町
産業課
西森 陽

アグレncyャー! ~農業を助ける!農業を始める!~

ビジョン → 越知町の農業危機が回避できる!
越知町ミニトマトブランドで収益向上!
農家の労働力不足を解消し、農家を元気にするための政策提案です。

政策 アグレncyャー



① 役場職員の副業解禁

役場職員が業務外で収穫等のアルバイトをする。
※農業委員会の職員は除外、他一定の条件あり

効果

- ・農家の労働力不足解消
- ・農業者の減少がSTOP
- ・役場職員のスキルアップにもつながる

② ミニトマト開発支援事業

トマト栽培は初期費用にお金がかかり、取り組む人が少ないため、町が経済的支援を行う。

効果

- ・農家の収益が向上し、離農者が減少する
- ・越知町にミニトマトブランドが誕生



目標 (R7年)

- ・農業者減少数 0 人
- ・農地、集積率減少数 0%
- ・労働力不足を感じる農家数 0 人
- ・トマト農家 11 経営体

感想 今回歴代最年少としてこの研修に参加させていただきました。最初は役場に入って、3年目で政策についての経験がない私が、最後までやりきれぬ不安でした。ですが、西野講師に政策について1から教えていただき、徐々に政策が形になっていくにつれて、面白いと感じるようになりました。特に面白いと感じたのは抜本的なアイデアを思いついた時で、それをプレゼンし、驚いてもらった時が一番楽しかったです。また、全体会、グループ会では、人づくりの方々や、受講生の仲間からアドバイスをいただき、最後には初日に宣言していた通り、無事トップセミナーでプレゼンをすることができ、社会人として成長できたのではないかなと感じました。この研修を、より多くの若手職員が受講することで、高知県を活性化させる可能性が高くなると思いますので、お声がかかった時には、前向きに検討していただければ幸いです。

発行：こうち人づくり広域連合



令和5年度 政策研究共同研修 事業報告
政策研究共同研修は、地域課題をテーマとして課題解決に向けた政策研究を行い、職員の実践的な政策形成能力の開発を図るとともに、活動成果を構成市町村の施策に反映させることを目指す研修です。令和5年度は、5市町6名が参加し、(一社)日本経営協会の講師、西野毅朗氏の指導のもと、政策課題の発見から分析、情報収集を行い、研究生の所属する自治体が抱える課題解決の具体化に取り組んできました。研究生が半年間にわたり互いに切磋琢磨し完成させた政策のうち3提案を、10月26日(木)トップセミナーにて発表しました。政策研究に挑戦してみたい方は、ぜひ来年度お申し込みください!

政策(ダイジェスト版)は次ページから☆

令和4年度こうち人づくり広域連合一般会計歳入歳出決算の報告

10月27日(金)に開催された、こうち人づくり広域連合議会第43回定例会で、令和4年度決算が認定されましたので、お知らせします。歳入と歳出の概要は、次の表のとおりです。

【歳入】 (単位:円)				【歳出】 (単位:円)			
款	予算現額(A)	収入済額(B)	(B-A)	款	予算現額(A)	支出済額(B)	(A-B)
1 分担金及び負担金	114,631,000	114,658,600	27,600	1 議会費	539,000	227,314	311,686
2 財産収入	1,069,000	1,069,000	0	2 総務費	73,162,000	70,482,296	2,679,704
3 繰入金	10,000,000	10,000,000	0	3 事業費	59,850,000	54,877,590	4,972,410
4 繰越金	8,843,000	8,843,625	625	4 予備費	1,000,000	0	1,000,000
5 諸収入	8,000	11,380	3,380	歳出合計	134,551,000	125,587,200	8,963,800
歳入合計	134,551,000	134,582,605	31,605	歳入歳出差引残額		8,995,405 円	

令和5年度 政策研究共同研修 企画概要

高知市 市民税課 寺尾 咲哉 Stop! 転出超過! -プロ・攻め・投資で雇用促進!-


ビジョン 就職のミスマッチによる転出者 150 人減少! → にぎわいが創出され、いきいきと働けるまちへ!!
就職のミスマッチによる転出を防ぎ、雇用体制を確立するための政策提案です。

政策 **プロ：民間人をマーケティング専門官として登用**

円滑化
アイデア 経営力
3つの期待


誘致施策
雇用労政
企業や地域とのコラボ

さらなる実効力



攻め：求職者と企業に対する攻めのアプローチ

求職者・学生 ← スカウト型就職支援(職業に関するアンケート調査・スカウトなど)
誘致企業 ← プッシュ型企業誘致(フォームマーケティング・スピード誘致など)




投資：雇用・人材育成にかかる企業側の負担軽減

- 雇用奨励金の支給 250 万円 / 1 社
- スキル習得や人材募集支援 50 万円 / 1 社
- デジタル分野等のリスティング支援 100 万円 / 1 社

各 10 社程度



感想 僕は本研修への参加を「挑戦」だと思って参加しました。挑戦には不安が常に伴いますが、地域の課題や問題、政策づくりに真剣に向き合い、トップセミナーで発表するという目標に向かって進んでいくことで不安が「楽しさ」に変化していきました。これからは挑戦することを継続し、経験値を高めていきたいと考えています。また、挑戦することや挑戦することで得た学びや経験を自分自身だけに留めず、同僚や後輩に発信していきたいと考えています。最後にご指導いただいた西野講師をはじめ、事務局や職場のみなさま、そして半年間ともに学び、励まし合った仲間へ感謝いたします。



高知市 第一福祉課 安松 美優 SNSでUターン就職

ビジョン Uターン就職で高知市を元気いっぱい!
~アカウントのフォローから始まる高知市へのUターン就職~
Uターン就職を促進し、元気はつらつなまちづくりのための政策提案です。

政策 **Instagramの活用** 社名検索するSNS No.1☆

STEP 1 高知市の企業紹介総合アカウント作成&周知 → Uターンの意識づけ

STEP 2 企業との連携・アカウント作成の支援 → 就活生が興味を持つHPを作る


STEP 3 Instagramの投稿・1日1件企業を紹介 → 就活生に企業を知ってもらう

STEP 4 企業HPとリンクさせてエントリー可能に → 応募のサポート◎


効果

アカウント登録者数	1,000人	→	2,000人
企業HPアクセス数	50%	→	80%
若者層人口	58.2%	→	60%

高知市の企業を知る → 高知市の企業に関心を持つ → 高知市へUターン就職!



感想 採用7年目となりますが、窓口業務の経験が少なく、「政策」については全くわからない状態での研修の参加となりました。問題提起から政策立案まで、ひとつの政策を立ち上げるまでのプロセスの大変さを実感しましたが、それに伴い、「調べること」の楽しさや、「知っていくこと」の楽しさも感じる事ができました。貴重な経験をさせていただいたので、今後の業務でもいろいろな場面で活かしていければと思います。ご指導いただいた西野講師、こうち人づくり広域連合の方々、研修受講の機会をくださった高知市人事課の方々に感謝いたします。ありがとうございました。



須崎市 環境未来課 松本 太洋 お出かけついでに人助け ~交通手段の確保に向けて~

ビジョン 助け合いで、より安心、より元気に暮らせるまちづくりを実現!
高齢者の外出機会を増加させ、いきいき暮らせるまちづくりのための政策提案です。

政策 **マイカー乗り合い交通サービス**

ポイント

- ① 移動したい住民と、自分のお出かけついでに誰かを乗ることができる住民ドライバーをマッチング
- ② 自宅と須崎市中心部を往来する住民のマイカーに乗りして移動

須崎市中心部 交通不便地区

・道路運送法が定める「事業者協力型自家用有償旅客運送」に基づき運用
・須崎市から交通業者に運行管理を委託
・ドライバーは助け合いの精神をもとに、ついでに送迎
・各地区と中心市街地間の利用に限定




利用方法

利用者	ドライバー
① LINE または電話で会員登録	① 担当課窓口にて手続き後、専用アプリを登録
② 担当課窓口で回数券を購入	② 安全講習を受講し保険に加入
③ LINE または電話で乗車予約	③ 予定を登録し、お出かけついでに利用者を送迎
④ 乗車し回数券で支払い	④ 回数券が貯まったら商品券と交換

目標

項目	R3値	R8目標値
運転に苦痛、不安を感じ始めており、できれば控えたいが他に変わる手段がないため運転を続けている	8.6%	3.0%
外出時に交通手段がなく困ることがある	6.0%	2.0%

感想 長期間にわたり、貴重な体験ができる研修に参加させていただきありがとうございました。私はこれまで政策立案をしたことがなかったため、はじめは不安を感じていましたが、研修生の皆さんに助けをいただきたから最後まで楽しく研修に取り組むことができました。通常業務と並行して研修課題に取り組む日々はとても大変でしたが、この研修で得た経験は今後、仕事をしていく上で必ず力になると思います。最後に、ご指導くださった西野講師やこうち人づくり広域連合の皆さんをはじめ、支えてくださった皆さんに心から感謝いたします。

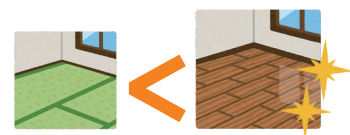


土佐清水市 企画財政課 尾崎 智彩 若者定住のまち 土佐清水 ~若者のニーズに合った住居整備~

ビジョン 市外に流出する若者を減少させる環境づくりで地域の活気につなげる!
若者を市内にとどめ、活気あるまちづくりのための政策提案です。

政策 ☆若者向け住居整備☆

- 若い世代(20代~30代)で、市内で住み替えを検討する人向けの空き家・空き部屋を確保
方法1: 市の空き家バンクに登録されている住居の中から、改修する住居を選定。
方法2: 不動産業者に委託をして空き家・空き部屋を探す。
- 市が空き家・空き部屋を借り上げ、改修
例: 和室を洋室にする、プライバシー確保として防音の整備
※若い世代に向けた調査を参考に、民間事業者と改修相談を行うなどして、改修プランを検討
- 住居紹介Instagramなど、SNS等を利用した若者への周知活動を通して、入居者を募集



効果 市内に若者が定住人口減少(社会減)改善、税収減少の改善

目標 市外へ出ていく若者が、3年間で30組減少

感想 私は研修生の中で、最も遠方からの参加でしたが、事務局の方やメンバーからの配慮もあり、最後まで取り組むことができました。研修では地域の問題を分析し、政策を決めてから、より具体的に、詳細に詰めていく部分で苦戦しました。多くの情報収集や分析が必要で、地道に取り組むことで政策立案ができていくのだと学びました。さまざまな指摘や意見をいただく中で、今までの自分よりも物事を広く考えることや、深掘りして考える視点を学び、それらを今後活かしていきたいです。今回お世話になった皆さんに感謝申し上げます。

